

新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）を活用した飯能市の取組について

1 新しい地方経済・生活環境創生交付金「デジタル実装型」（国庫補助金）について

新しい地方経済・生活環境創生交付金は、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずることとして生まれた交付金です。

交付金のメニューのうち「デジタル実装型」は、デジタル技術を活用して行う地方創生の取組や、地域のニーズ、実態に沿った多種多様なサービス実装の取組を強化するため、デジタル実装に必要な経費などを支援するものであり、3つのタイプに区分されています。

飯能市が今回交付決定を受けた「タイプ1」は、他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組を支援するものであり、埼玉県では41団体、80件が採択されました。

2 飯能市の採択事業

飯能市で採択された3事業の概要は以下のとおりです。

(1) 道路占有GISの導入による行政サービス向上事業

道路占有申請情報及び位置情報をデジタル化し、道路占有GIS上で管理することで、来庁者の待ち時間短縮、申請書作成の負担軽減を図るものです。

○ 事業費（補正予算計上額）10,104千円（うち交付金5,040千円）

(2) 学校体育施設スマートロック化整備事業

学校体育施設の利用に当たっては、各施設へ出向いて鍵を受け取り、利用後は元の場所へ返却することとなっており、利用者と職員の両方に負担となっています。この解決策として、暗証番号で開錠できるスマートロックを施設入口等に設置することで、鍵の受渡し及び返却が不要となり、入出状況についても見える化が可能となります。これにより利用者の利便性を向上させるだけでなく管理の効率化やセキュリティの向上を図ることができます。

○ 事業費（補正予算計上額）10,561千円（うち交付金5,280千円）

(3) 飯能市版保育ＤＸ推進事業

保育事業においての入所申請、入所調整、給付・監査などの事務は、紙書類を基にアナログな形式で行われており、民間保育施設事業者、保護者などの関係者にとって、申請書類の作成等を含む市とのやり取りが、大きな負担となっています。保育給付等管理システムの活用及び保育所入所に係るＡＩマッチングの導入により、スピーディな対応を実現することで、申請者の負担を軽減し、保育士や保護者のこどもと向き合う時間を増やし、「切れ目ない子育て支援の充実」を目指していきます。

○ 事業費（補正予算計上額） １１，３０７千円（うち交付金５，６５３千円）